

# シュタイナーの 治療教育と芸術の持つ治癒の力

## 人間性の深みと魂の高みへ III

今社会の中で、障がいを持った子どもや、貧困やネグレクト、二次障がいも含めて非常に困難な状況に置かれた子どもたちが多く見られます。そうした子どもたちへ、身近な周囲の人たちの暖かい眼差しと、的確な対応が求められますが、現実にはますます複雑なケースが増えており、支援の難しさを感じます。今回第3期目となる連続講座では、そのような子どもたちの支援を行う現場のための、より実践的な力となる講座にしていきたいと考えています。また午後の芸術体験では、各回ごとのテーマと合わせて、毎回体験を深めていける内容にする予定です。

### 第1回 障がいをどうとらえるか? — 発達と障がい、障がいの意味

子どもは、本来、自由に動ける自由な空間を必要としています。しかし、最近では子どもたちが自由に遊べる豊かな空間が、子どもの身近なところから少なくなっています。その環境の変化と重なるように、子どもの発達過程に変化が見られるようになりました。そして、障がいを持って生まれた子どもに加えて、未就学児のうちから発達障がいではないか、と相談に見られるケースが増えてきました。子どもの発達過程をたどり、シュタイナー教育の人間観を通して、障がいの持つ意味、子どもにどのような問題が生じているのかを見ていき、どのようなサポートが可能か現場をもたれる方々と共に考えていきたいと思えます。(江崎桂子)

2018年10月7日(日) 10:00~17:00

- 10:00~12:00 《講義》 講師:江崎桂子
- 12:00~13:20 休憩
- 13:20~14:40 《フォルメン線描》 講師:吉澤明子
- 14:40~15:00 休憩
- 15:00~16:20 《音楽体験》 講師:前平加代子
- 16:20~17:00 《振り返り・質疑応答》

・クレヨン4色位をご用意ください。

- 会場:平塚市民活動センター
- 申し込み締め切り:8月31日
- 定員:40名
- 参加費:各回受講 8,000円  
3回分(3日分)まとめて前払い 22,000円 アウディオペーデ、後援団体の会員は 20,000円
- 対象:保育や教育現場で働く先生、保育者、サポートする保護者  
アントロポゾフィーの治療教育と芸術体験に関心をお持ちの方、  
実践への方向性を模索している方、アントロポゾフィーの経験、知識は問いません。

申し込み方法は裏面 ▶

## 申し込み方法

○お名前、職業、住所、電話番号、メールアドレスを明記のうえ、メールまたはファックスにてお申し込みください。

申し込み先 一般社団法人オーディオペーデ

Fax:046-240-9118

e-mail: audio-pd@nifty.com

○講座費用の振り込みをもって受講受付となります。  
(お振り込みの返金は致しません。代理の受講は可能です。その際はご連絡ください。)

## お支払いについて

○下記郵便振替口座に講座費用をお振り込みください。

郵便振替口座名：一般社団法人オーディオペーデ

口座番号：00220-2-101127

他銀行からの振り込み

ゆうちょ銀行 店番：〇二九（ゼロニキュウ）当座0101127

## ○会場のご案内

### 平塚市民活動センター

〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町3-3 JAビルかながわ2階



会場は第3回までは平塚市民活動センター  
第4回以降、場所が変更になります

## 今後のスケジュール

2018年

第1回 10月7日(日) 「障がいはどうとらえるか?—発達と障がい、障がいの意味」  
..... 講師：江崎桂子、吉澤明子、前平加代子

第2回 12月2日(日) 「子どもを観る—治療教育の観点から」  
..... 講師：江崎桂子、石川公子、吉澤明子

2019年

第3回 2月3日(日) 「子どもたちを理解するために I—メディアやゲームに囲まれた社会の中で」  
..... 講師：山下直樹、吉澤明子、石川公子

第4回 4月7日(日) 「子どもたちを理解するために II—自閉症スペクトラムの子どもたちの理解」  
..... 講師：江崎桂子、吉澤明子、前平加代子

第5回 5月26日(日) 「子どもたちを理解するために III—ボーダーラインの子どもたちの理解」  
..... 講師：山下直樹、石川公子、前平加代子

第6回 8月5日(日) 「自己教育について」  
..... 講師：江崎桂子、石川公子、前平加代子

## 講師プロフィール

江崎 桂子 治療教育家、薬剤師、社会福祉士、バイオグラフィーワーカー。ダウン症の娘の誕生がきっかけでシュタイナー教育と出会う。土曜クラスの運営に関わり、2001年渡独。ヴィッテンのシュタイナー教育研究所で治療教育を学ぶ。2006年帰国後、魂の保護を求める子供達と活動、障がい者とのライアーの時間を続けている。八王子にて教育とセラピーの場「アルテミア」を共同主宰。障がい児の教育相談、治療教育を行っている。

山下 直樹 治療教育家、東京学芸大学障害児教育学科を卒業後渡欧。スイスにあるシュタイナー治療教育施設ゾンネンホーフ附属治療教育者養成ゼミナールを1998年修了。幼稚園・小中学校の保育カウンセラー、スクールカウンセラーを経て、現在名古屋短期大学保育科准教授。専門は臨床心理学で、保育現場における子どもや保護者をどのように理解し支援することができるのかを主なテーマである。

石川 公子 オイリュトミー療法士。1987年渡独後、フランクフルト近郊のペンゲンハイム共同体で治療教育を学ぶ。その後オイリュトミー療法士の資格を取得。1999年帰国後、シュタイナー学校や幼稚園でオイリュトミー療法を行う傍ら、治療教育の必要な子どもたちとの療法に携わる。現在、横浜のアントロポソフィー医学のクリニックで療法士として活動し、また健康オイリュトミーやバイオグラフィーワークの講座を行う。日本オイリュトミー療法士協会副代表。

前平 加代子 アントロポソフィー音楽療法士・日本音楽療法学会認定音楽療法士・幼稚園教諭1級・保育士・家庭教育相談員資格・認定心理士。シュタイナー教員養成課程修了。療法的音楽教育養成コース、シュタイナー音楽療法士養成コースを、本講座前任の講師である竹田喜代子氏の下で学び、2015年アントロポソフィー音楽療法士資格を取得。現在障がいを持った子どもや大人の方の音楽療法、および子育て相談を数箇所の施設でおこなっている。

吉澤 明子 絵画造形療法士、画家、バイオグラフィーワーカー。1987～92年ドイツ、ヴィッテンのシュタイナー教育研究所及びヘルデッケ共同体病院にて芸術療法を学ぶ。帰国後障がい者施設や老人ホームにて療法を実践、治療教育の必要な子どもたちの個別療法に長年携わる。現在横浜のアントロポソフィー医学のクリニックにて日本初の色光療法および芸術療法を行う。シュタイナー教育芸術アカデミー(教員養成講座改め)運営委員兼講師。Visio-paedé(ヴィジオペーデ)研修所主宰。